

令和4年度
事業報告書

社会福祉法人上島町社会福祉協議会

は じ め に

新型コロナウイルス感染症の影響により、失業したり仕事が減ったことで収入が減少し、その収入減少が長期にわたることで日常生活の維持が困難な世帯に対する緊急小口資金や総合支援資金の貸付について、発生から今日まで、本町においてはそれほど多くの相談件数はありませんでしたが、セーフティネットの役割を遂行し感染症対策を講じながら業務を実施いたしました。

新たに3名の地域福祉系の職員を迎えた令和4年度は、職員の職務分担や連携方法について見直しを行い、よりチームとして業務が遂行できるように重点的に取り組みました。さらに本年より、一般就労が困難な生活困窮者に対して就労するまでの準備として基礎能力の形成を行うための支援を行う就労準備支援事業を愛媛県の委託事業として開始しましたが、職員の制度への理解や町内に潜在するニーズの洗い出し、周知方法について研究を行いました。より多くの世帯へ効果的な情報提供についてさらに研究を進めていきます。

介護保険事業所の運営については、利用者の減少や急激に高騰を続ける光熱費等に対し、引き続き安定的かつ継続的なサービスの提供が行えるよう、通所介護事業所の営業日や定員の見直しに取り組みました。また、定期的に職員会議を開催し、より良いサービスの提供に向け、職員の資質向上に努めました。

本会の活動の推進については、住民の皆様をはじめ、関係機関・団体のご協力に感謝するとともに、今後も更なるご理解とご支援をお願い申し上げ、令和4年度の事業報告をいたします。

令和4年度における本会の事業を次のとおり報告します。

1. 法人運営事業
(1) 法人運営事業

名称	回	開催日 開催場所	出席/ 定数	協議内容
① 理事会	第1回	令和4年5月27日 生名デｲｰﾋﾞﾝｽﾞｾﾝﾀｰ	11/14	①令和3年度事業報告書の承認について②令和3年度社会福祉事業会計計算書類の承認について③令和4年度社会福祉事業会計第1次資金収支補正予算書(案)について④補欠理事候補者の推薦について⑤補欠評議員候補者の推薦について⑥令和4年度第1回評議員選任・解任委員会の開催日時等について⑦令和4年度第1回評議員会の開催日時等について
	第2回	令和5年3月8日 生名デｲｰﾋﾞﾝｽﾞｾﾝﾀｰ	13/14	①令和4年度社会福祉事業会計第2次資金収支補正予算書(案)について②上島町社協生名通所介護事業所運営規程の一部改正について③給与規程の一部改正について④臨時職員就業規則の一部変更について⑤嘱託職員就業規則の一部変更について⑥パート職員就業規則の一部変更について⑦非常勤職員就業規則の一部変更について⑧介護職員に対する処遇改善加算の支給に関する規程の制定について⑨役員等賠償責任保険契約について⑩令和5年度事業計画書(案)について⑪令和5年度社会福祉事業会計資金収支予算書(案)について⑫補欠理事候補者の推薦について⑬令和4年度第2回評議員会の開催日時等について
② 評議員会	第1回	令和4年6月17日 生名デｲｰﾋﾞﾝｽﾞｾﾝﾀｰ	14/21	①令和3年度事業報告書の承認について②令和3年度社会福祉事業会計計算書類の承認について③令和4年度社会福祉事業会計第1次資金収支補正予算書(案)について④補欠理事の選任について
	第2回	令和5年3月24日 生名デｲｰﾋﾞﾝｽﾞｾﾝﾀｰ	11/20	①令和4年度社会福祉事業会計第2次資金収支補正予算書(案)について②令和5年度事業計画書(案)について③令和5年度社会福祉事業会計資金収支予算書(案)について④補欠理事の選任について
③ 監事会	第1回	令和4年5月10日 生名デｲｰﾋﾞﾝｽﾞｾﾝﾀｰ	2/2	①令和3年度における業務の執行状況及び財産の状況
任・解任委員会 ④ 評議員選	第1回	令和4年6月6日 弓削高齢者生活福祉センター	3/3	①補欠評議員の選任について

⑤ 社協会員の募集

各地区において、自治会、地区社協、理事・評議員の協力により、社協会員の募集を行った。

地区	一般会員 (1,000円)	賛助会員 (3,000円)	法人会員 (10,000円)	特別会員 (町外者)	計
生名	188,000	0	60,000	0	248,000
岩城	608,000	0	140,000	0	748,000
魚島	63,000	0	0	0	63,000
弓削	836,000	9,000	90,000	20,000	955,000
計	1,695,000	9,000	290,000	20,000	2,014,000

2. 地域福祉推進事業

(1) 企画・広報事業

社協活動の効果的な推進を図るため下記の広報活動を行った。

① 機関紙「社協だより」の発行 4回全戸配布 (4月・7月・10月・1月)

② 「かみじま福祉フェスタ 2022」の開催

○令和4年12月4日(日) せとうち交流館

○スローガン『みんなで支え合う島 ふれあいのまちづくり』

記念講演『第2期地域福祉活動計画に向けて必要なこと』

新見公立大学 健康科学部社会福祉学科 教授 高杉公人 氏

○協力団体

生名・弓削ささえ愛隊、上島町特別養護老人ホーム海光園、株式会社幸福丸、ちゅうりっぷぐる〜ぷ、ハートリーフ、NPO法人ふくふくの会、弓削愛木会、弓削婦人会

(2) 総合相談事業

事業の名称	事業内容	実績
①一般相談事業 (心配ごと相談事業)	住民の抱える様々な相談に応じ適切な助言・援助、関係機関への連絡・調整を行い福祉の増進を図る。	相談件数：6件
②生活困窮者 ・自立相談支援事業 (愛媛県受託事業)	積極的な訪問支援や地域ネットワークの働きかけにより、生活困窮者を早期に把握し、多様で複合的な課題を抱える生活困窮者が制度の狭間に陥ったり、生活保護の適用を受けることにならないよう、相談員が本質的な課題解決に向けた支援活動を行う。また、離職等により住宅を失った生活困窮者等に対し、家賃相当の「住居確保給付金」の支給を受けるための支援を行う。	新規相談：16名
・家計改善支援事業 (愛媛県受託事業)	家計収支の均衡が取れていないなど、家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、相談者とともに家計の状況を明らかにして生活の再生に向けた意欲を引き出した上で、家計の視点から必要な情報提供や専門的な助言・指導等を行うことにより、相談者自身の家計を管理する力を高め、早期に生活が再生されるよう支援を行う。	うち、 プラン作成：1名 住居確保：0名 家計相談：7名 就労支援：2名
・就労準備支援事業 (愛媛県受託事業)	単に就労に必要な実践的な知識・技能等が欠けているだけではなく、複合的な課題があり、生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安を抱えている、就労意欲が低下している等の理由で就労	3月末継続支援者数：27名

	に向けた準備が整っていない者に対して、就労に向けた準備としての基礎能力の形成を、計画的かつ一貫して支援を行う。	
③生活福祉資金貸付事業 (愛媛県社会福祉協議会受託事業)	低所得者、障がい者等に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行い、その経済的自立及び在宅福祉の促進と安定した生活を図る。 新型コロナウイルス感染症の影響による緊急小口資金等の特例貸付として、収入が減少した世帯に対し生活費の貸付事務を行った。	相談者数：4名 貸付件数：2件
④臨時特例つなぎ資金貸付事業 (愛媛県社会福祉協議会受託事業)	離職者であり、住居のない者に対し、公的貸付開始までの資金の貸付と必要な援助指導を行い、その経済的自立及び在宅福祉の促進と安定した生活を図る。	
⑤福祉サービス利用援助事業	在宅で生活をされている方で、判断力が十分でない認知症の高齢者、知的障がい者、精神障がい者等の方に対し、福祉サービスの利用手続きの援助や代行、利用料の支払い等の支援を行う。	相談者数：0件 利用者数：1名 利用回数：19回
⑥法人後見事業	上島町の住民で障がい等により物事を判断する能力が十分でないと思われ、援助が必要とされる要支援者で、家庭裁判所の審判で成年後見人等が必要であると認められた場合、引き受け手がいない要支援者の権利を擁護するために、法人後見人等として援助を行う。	相談者数：0名 利用者数：1名 利用回数：8回
	家庭裁判所の判断により後見監督人として選任され、後見人の監督や支援を行う。	支援者数：1名 支援回数：47回

(3) 地域活性化等事業

① 地区社協運営事業 (弓削)

地区社協会長会の開催 (せとうち交流館)

回	開催日	出席者	協議内容
第1回	令和4年8月4日	3名	1. 社協会員の募集について (依頼)

② 福祉用具リサイクルサービス

家庭で使わなくなった福祉用具を提供する者とリサイクルを希望する者を社協だより及び本会ホームページで情報提供を行うことにより、福祉用具等の有効活用を図り地域福祉の推進に寄与することを目的として実施した。

福祉用具等の名称	提供数	希望者数
シャワーチェア	5	7
杖	5	6
シルバーカー	4	15
介助用車いす	2	6
ポータブルトイレ	2	5
シャワーキャリー	1	2
セニアカー	1	2

介護手すり	1	1
浴槽台	1	1
浴槽用手すり	1	1
ベビーベッド	1	1
ベビーカー	1	1
バウンサー	1	1
合 計	26	49

③ 福祉機器貸出事業

介護認定において、自立の者や障がい者等を対象に、必要に応じて各地区で保有している福祉機器等は無償で貸し出し、福祉の増進を目的に実施した。

機器等の名称	貸出件数
車いす	24
ポータブルトイレ	9
チャイルドシート	1

④ 地域福祉活動計画の推進

「みんなで支え合う島 ふれあいのまちづくり」を理念として、行政、関係機関・関係団体・ボランティア団体等と連携して、幅広い住民の参加のもと、支え合いによる地域づくりを推進するために、第2期地域福祉活動計画の策定を行うにあたり、各世帯および教育機関、インターネットによるアンケート調査を実施し、654件の回答を取りまとめた。

(4) 共同募金関係事業

① 赤い羽根共同募金運動

10月～12月に行われる共同募金運動に伴い、自治会等を通じての住民や、学校等の協力を得て、募金運動を実施した。

目標額：1,222,000円 募金額：1,170,857円 達成率 95.8%

② 配分金事業

ア) 老人福祉関係事業

事業名	実施日	内 容	対象人数
高齢者と子供のためのクリスマス会	令和4年12月20日	魚島地区において教育振興会との共催によるクリスマス会を魚島小、中学校の協力を得て実施。欠席者と高井神については、個別に自宅を訪問した。	魚 島 57名 高井神 7名

・ふれあいいきいきサロン事業

高齢者の閉じこもりの防止、生きがいづくりを目的に、感染拡大予防に努めながらふれあいいきいきサロンを開設した。

地区	サロン名称	開催場所	実施回数	延参加人数
生 名	ひまわり	3分団集会所	17	57
岩 城	やすらぎ	岩城開発センター	11	121
	なでしこ	長江公民館	12	48
弓 削	あかり	弓削老人福祉センター	20	112
	しおさい	せとうち交流館	10	46
	すこやか	弓削開発センター	10	32
魚 島	ひだまり	魚島東集会所	67	335
合 計	7カ所		147	751

イ) 障がい者福祉関係事業

事業名	実施日	内 容	参加人数
身体障がい者交流会	令和5年2月3日	町内の身体障がい者を対象に、レクリエーションを通して交流を深めることを目的として実施した。	30名

ウ) 児童福祉関係事業

事業名	実施日	内 容	参加人数
福祉体験学習	令和4年10月5日 令和4年11月1日 令和4年12月12日	高齢者疑似体験、車いす体験のほか、地域について考えるワークショップ行い、高齢者や車いす使用者に対する知識や理解を深めた。またデイサービスを訪問し高齢者と交流を深めた。	岩城小6年8名
	令和4年10月26日 令和4年12月6日 令和5年2月15日 令和5年2月28日	高齢者疑似体験、車いす体験のほか、地域について考えるワークショップ行い、高齢者や車いす使用者に対する知識や理解を深めた。またデイサービスを訪問し高齢者と交流を深めた。	弓削小6年10名
	令和4年6月10日	高齢者疑似体験、車いす体験のほか、選択授業『生活と福祉』においてデイサービスを訪問し高齢者と交流を深めた。	弓削高3年8名
少年式記念品	令和5年2月	中学校2年生を対象に少年の日を祝い記念品を贈呈した。	岩城中 11名 弓削中 18名 魚島中 0名
保育所卒園記念品	令和5年3月	保育所を卒園される園児に記念品を贈呈した。	生名 3名 岩城 10名 弓削 15名 魚島 0名

エ) ボランティア関係事業

地域でボランティア活動を推進する団体の、活動中の事故に備えての保険加入の促進を行った。※()は対前年増減数

地区	生名	岩城	弓削	魚島	合計
加入団体	3(0)	4(0)	7(0)	0	14(0)
加入者数	10(0)	23(0)	116(+1)	0	149(+1)

③ 歳末たすけあい運動

12月に行われる歳末たすけあい運動に伴い、民生児童委員の協力を得て街頭募金を行った。

実施日	場所	募金額
令和4年12月7日	弓削(生協・Aコープ前)	106,210円
令和4年12月9日	岩城(JA岩城支店周辺)	
令和4年12月12日	生名(ポプラ生名店前・生名立石港務所前)	

④ 歳末たすけあい募金配分金事業

事業名	内容	対象人数(前年増減)
独居高齢者見守り事業	民生児童委員の協力を得て、町内に在住する85歳以上の独居高齢者を訪問し、安否確認等の見守り活動を行うと同時に、見舞品を配付した。	生名 30名(3) 岩城 43名(+5) 魚島 6名(-3) 弓削 84名(+6) 全体 163名(+11)

⑤ 災害備蓄品の整備

災害に備えて、本会が管理する各施設に備蓄を行った。

品名	個数
乾パン	720 缶
アルファ米	1,295 食
飲料水(20)	330 本

3. 介護保険サービス関係事業

(1) 上島町社協訪問介護事業所		延利用人数
① 訪問介護事業	要介護1以上と判定された者と利用契約を締結し、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介助その他生活全般にわたる援助を行う。	471
② 総合事業	事業対象者・要支援と判定された者と利用契約を締結し、訪問介護員が利用者の居宅において介護予防を目的として、介護その他の必要な日常生活上の支援を行う。	315
③ 生活支援ホームヘルプサービス事業(上島町受託事業)	基本的な生活習慣が欠如し、社会参加が困難である介護給付の対象とならない高齢者等に対しヘルパーを派遣し、日常生活に対する指導及び支援を行い、要支援・要介護状態への移行を予防する。	0

(2) 上島町社協居宅介護支援事業所		延利用人数
① 居宅介護支援事業	要介護1以上と判定された者と利用契約を締結し、介護保険サービスを利用する者の居宅介護サービス計画の作成、在宅サービス事業者との連絡調整や介護保険施設の紹介等のケアマネジメントを行う。	1,559
② 介護予防居宅介護支援事業 (上島町受託事業)	上島町地域包括支援センターから委託された要支援の者の介護予防プランを作成し、適切なサービスが提供されるよう事業者や関係機関との連絡調整を行う。	253
③ 要介護認定調査事業 (上島町受託事業)	介護保険を申請された方に対し、要介護度を決定するのに必要な調査票作成のための訪問調査を実施。	0
(3) 上島町社協<生名・岩城・弓削>通所介護事業所)		延利用人数
① 通所介護事業	要介護1以上と判定された者と利用契約を締結し、施設において利用者が可能な限り、その有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう必要な日常生活の世話、機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消、心身の機能の維持、家族の身体的、精神的負担の軽減を図る。	生名：230 岩城：449 弓削：389
② 総合事業	事業対象者・要支援と判定された者と利用契約を締結し、施設において介護予防を目的として送迎、入浴、レクリエーション等のサービスを提供し、日常生活動作の維持・向上を行う。	生名：68 岩城：180 弓削：138
③ 生きがい活動支援通所事業 (上島町受託事業)	家に閉じこもりがちな介護給付の対象とならない高齢者等に対し、通所介護サービスの提供により、高齢者の社会参加を促進するとともに社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を行う。	生名：0 岩城：0 弓削：0

4. 障害福祉サービス事業

(1) 上島町社協特定相談支援事業所		延利用人数
① 特定相談支援事業	障害福祉サービスの受給資格を有する障がい者と利用契約を締結し、サービス等利用計画を作成し、適切なサービスが提供されるよう事業者や関係機関との連絡調整を行う。	51
(2) 上島町社協居宅介護事業所		延利用人数
① 居宅介護事業	障がい者及び障がい児と利用契約を締結し、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、生活全般にわたる援助を行う。	107
② 重度訪問介護事業	重度の肢体不自由または重度の知的障がいもしくは精神障がい等と利用契約を締結し、生活全般にわたる援助や外出時における移動中の介護を総合的に行う。	0
③ 移動支援事業	屋外での移動に困難がある障がい者及び障がい児について、外出のための支援を行うことにより、地域での自立生活及び社会参加を促すための支援を行う。	29

5. 生活支援体制整備事業（上島町受託事業）

生活支援コーディネーターが日常生活上の支援が必要な高齢者等に対し、住み慣れた地域で生きがいを持ち在宅生活を継続していくために必要となる多様な主体による生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実・

強化を図った。

○定期

開催日等	名称	内容
令和4年5月20日 令和5年3月16日	上島町協議体	生活支援コーディネーターにおける活動の計画及び報告を行った。
月1回開催	おたすけマン会議	主に岩城橋開通後の地域住民の生活の変化などについて意見を交わした。
月1回開催	ハートリーフ座談会	岩城診療所花壇の整備を行ったり、岩城橋開通に伴うおたすけマン活動について意見を交わした。
月1回開催	ささえ愛隊座談会	主に公共交通機関および移動支援の普及について意見を交わした。 昨年度からのENGAWAマップの作成を継続した。
年4回	社協だより	生活支援コーディネーターの活動紹介記事を連載し、活動について周知を行った。

○企画

実施日	イベント	内 容
令和4年7月18日	海遊び	子育てサロンおひさま参加者や地元の子どもたち6名の参加があった。
令和4年11月3日～ 令和4年11月5日	写真展	ENGAWAにおいて、ささえ愛隊の協力のもと、野田明弘氏による介護現場をテーマにした写真展を開催した。
令和4年11月23日	芋煮会	若手農家や子どもたちを含めた調理体験と食事会を通じた交流会を開催し、31名の参加があった。
令和4年12月4日	かみじま福祉フェスタ	新見公立大学教授・高杉公人氏を講師に迎えた記念講演内において、生活支援コーディネーターの立場から町内各地区の支え合い活動の状況について報告した。
令和5年3月8日	ちびっ子食堂	絵画教室の参加者、認知症カフェのボランティアなどが主体となり、子育てサロンの親子と交流した。
令和5年3月23日	シニアサポーター交流会	生名・弓削ささえ愛隊と岩城ハートリーフの交流会を、ENGAWAにおいて開催した。

6. 指定管理事業（公益事業）

（1）施設の管理運営

指定管理者制度による上島町の条例及び協定書に基づき、次の施設の管理運営を行った。（指定の期間：平成30年4月1日から令和5年3月31日）

- ・上島町生名デイサービスセンター（上島町生名2133番地3）
- ・上島町岩城高齢者生活福祉センター（上島町岩城2239番地）
- ・上島町弓削高齢者生活福祉センター（上島町弓削上弓削1907番地1）

(2) 地域拠点整備事業

岩城地区及び弓削上弓削地区において、岩城・弓削高齢者生活福祉センターを地域の誰もが気軽に集まることのできる「居場所」とすることで、地域住民の交流の場とし、引きこもり、孤立の防止、生きがいつくり、見守りなど、誰もが安心して暮らしていける地域づくりの拠点を整備、運営の支援を行った。

① 上島町岩城高齢者生活福祉センター

・子育てサロン、絵画教室、手芸、さくらカフェ、ハートリーフ (延 1,388 人)

② 上島町弓削高齢者生活福祉センター

・弓削校区児童クラブの設置について協力をを行った。

・不登校や引きこもりなどの支援を必要とする子供とその保護者に対して、相談場所の設置と相談支援を行った。

7. 福祉有償運送事業（公益事業）

要介護者及び身体障がい者等で、単独では公共交通機関を利用することが困難な者を対象に、社会参加の機会の確保や日常的な外出支援等を行うことを目的として実施した。

地区		年間合計	月平均
生名	延人数	50	4.2
	延回数	230	19.2
岩城	延人数	126	10.5
	延回数	365	30.4
弓削	延人数	253	21.1
	延回数	1,099	91.6

8. その他の事業・活動

(1) 日本赤十字社の会員募集

5月に行われる日本赤十字社会員増強運動に伴い、各地区の自治会の協力を得て、会費を募った。

目標額： 963,800 円 会費総額： 1,067,000 円 達成率 110.7%

(2) 日赤短期講習会の開催

日赤愛媛県支部が実施している各種短期講座を開催し、地域住民の福祉の向上を図った。

実施日	参加人数	開催内容
令和4年10月23日	57人	岩城北集会所において、移動式かまどを用いた炊飯体験・試食や講習会のほか、防災グッズ展示などの展示を行った。